

首都圏大曲会会報 第21号

ふるさと大曲

題字 澁谷一男

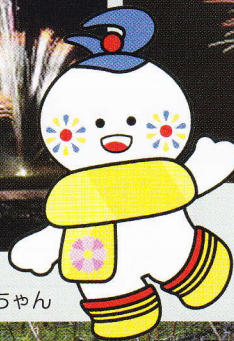
平成28年8月発行 発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339 FAX 03(6273)0081 eメール：info@e-prosjp.com <http://www.supportlife.info>



“大曲の花火”春の章 オープニング



観光客の拠点「毎日大曲」の看板



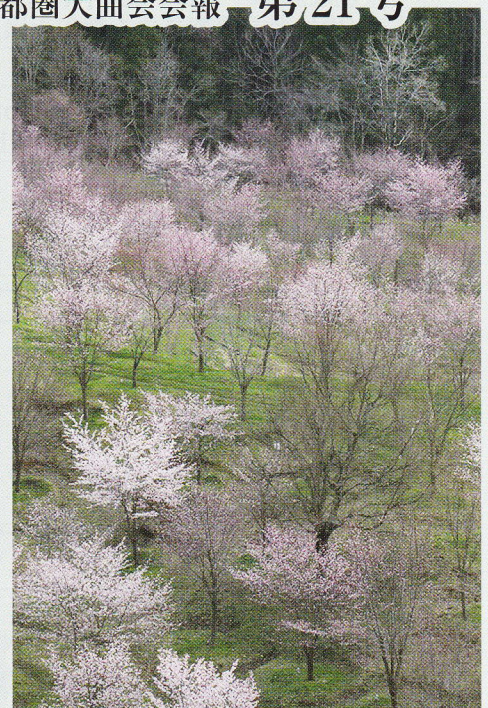
まるびちゃん

あす
未来に羽ばたく
「春の章」 爽やかにフィナーレ
若い力

首都圏大曲会会報 第21号



岩を噛んで駆け下る谷川の傍で賑やかにミズバショウが群生していた



若木の桜が清楚に咲き揃う桜峠公園

秋田県特別栽培農産物認証

うちしろきん
内城菌パワーで

こだわりの

有機米

『アキタコマチ』

安全・安心

食感が自慢です。

アキタコマチは

今年も

沃(こ)えた仙北平野で

順調に

育っています。

*内城菌農法

画期的なパワーを発揮する内城菌は、従来厄介者として処理されてきた食物、魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルします。これで土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易くなり、ここに有機肥料による「内城菌農法」が可能となります。生産者佐藤久男氏のこだわりは、この肥料を使って生産する安全・安心の有機米『アキタコマチ』です。



有機米『こだわり米のアキタコマチ』Fax注文票

ご注文Fax番号⇒ 0187-62-5614

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	25 kg袋
①減農薬 化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壌)	3,000 円 (個)	5,000 円 (個)	11,500 円 (個)
送料ご負担分	1 袋 200 円	1 袋 200 円	1 袋 400 円
②減農薬 化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料+化学肥料散布土壌)	2,300 円 (個)	3,800 円 (個)	9,000 円 (個)
送料ご負担分	1 袋 200 円	1 袋 200 円	1 袋 400 円
ご注文合計数	(個)	(個)	(個)
品物+送料合計	円	円	円

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

*新米ご予約の方は○印⇒ ☐

電 話⇒

◆販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。

今年も「こだわりのアキタコマチ」は、刈取り後の10月から販売を開始します。

ただいま新米の予約ご注文も受け付けております。どうぞご用命ください。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男

電話0187(66)1702 Fax0187(62)5614

お父さんたちの甲子園

500歳野球
来年から全国大会に拡大

少年野球発祥の地・旧神岡町で開催されていた「500歳野球大会」は、来年から全国大会に拡大すると発表がありました。7月9日、東京・四ツ谷のホテル、スクワール麹町で旧神岡町出身者で構成するふるさと会嶽雄会（斎藤睦男会長）が、平成28年度総会を開催。この日大仙市から出席した久米正雄副市長の、大仙市の近況報告にあったものです。

500歳野球は37回の歴史があり、昨年の大会には秋田県内から184チーム、約4700人が出場しています。まさに少年の頃、小学校の校庭はもちろん、稲の刈り取られた後の田んぼをグラウンドにして、日が落ちて暗くなるまで球を追いかけた仲間たち。

今50歳を越して、少年時代の強烈な思い出は「野球」と答える人が如何に多いことか。

今年はその前哨戦として7月16日から18日までプレ大会が開催されました。青森、岩手、東京や、地元からは大曲クラブなど合計13チームが招待され、大曲球場を主球場に熱戦を展開。岩手県チームが優勝。地元大曲クラブは健闘して堂々3位に入賞しました。

首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第21号 目次

国際花火シンポジウム・プレ大会

大曲の花火「春の章」盛大に！……………4

◇『毎日大曲』オープン 大曲の魅力発信に新たな拠点……………6

◇エッセー 遠くて近いふるさとを思う……………8

「中良野原と和田徹夫先生」高階光義 「幻相のわがふるさと」今井幸子
「最近の大曲は面白い」辻 卓也

◆「第7回 大曲の花火を東京で観る会」開く！……………10

「大曲の花火」物語 大曲商工会議所副会頭 賢木 新悦……………12

この夏、第90回全国花火競技大会（大曲の花火）

□大仙市で活躍する企業訪問シリーズ ⑪

伝統と品質で勝負する 小松煙火工業株式会社……………16

■今年も東京・有楽町に大仙市がやって来る！……………20

ふるさと納税にご協力ください 21 500歳野球全国大会に 目次 3

ガンバレ！ みんなで応援しています 22 会員のひろば 朱華 黒皮羽生 27

大曲の話 26 編集後記 27

カメラ紀行 春から夏へ「季節が巡る 裏磐梯を行く」 斎藤 貞助 ……24

表紙写真撮影・協力 大仙市役所、斎藤貞助

内食 愛情いっぱい食事
中食 便利に食事
仲食 なかよく食事

おうちで食べよう

株式会社 タカヤナギ

GRAN MART

akayanagi Quality Life Partner





大曲の花火「春の章」最終章を飾った特大スターメイン

2017 国際花火シンポジウム・プレ大会

大仙市開催 広がる市民の期待

大曲は花火のまち。来年4月、大仙市で開催される「第16回国際花火シンポジウム」のプレ大会が、今年4月29日、大曲地域雄物川河畔を中心に行われました。大会第1部では講演や「花

火と観光のまちづくり」をテーマに討論会が行われました。

第2部の大曲の花火「春の章」では、市内の花火業者を初め国内外の業者により3千発の花火が打ち上げられました。

大曲の花火「春の章」盛大に！

世界の花火
日本の花火
県内外から三万人の観光客

来年四月二十四日から二十九日まで、大仙市での開催が決定している「第16回国際花火シンポジウム（花火サミット）」。

来年の本番に向けて市民の気運の醸成を図り、市民がこぞってシンポジウムを歓迎するプレ大会を、今年4月29日、丸子川寄りの雄物川河畔を会場に、「大曲の花火・春の章」を開催しました。

計画当初は、爛漫の季節の花火大会を予想していましたが、今年の桜の開花が早く、大会一週間前に終わってしまいました。その上この日はあいにくの風交じりの雨。しかしそこはさすがに「花火のまち」。雨風には大して影響されることもなく、三万人もの来場者



大曲の花火「春の章」序章 華やかなオープニングのスターメイン
大仙市内の花火業者、日本を代表する26の業者やカナダからも参加した

がありました。観光バスや県外ナンバーの車も多く見受けられました。

この日打ち上げられた花火は三千発。大仙市内の花火業者を初め、日本を代表する26の業者、国際花火シンポジウム協会が置かれていたカナダからも参加がありました。



大曲の花火第一章「世界の旅」から。エジプト、オーストラリア、スペイン、ペルーの4カ国をイメージしている



第一章「世界の旅」から



カナダの花火業者による「From Canada with Love (カナダから愛を込めて)」のヒット曲に乗せて17分間にわたる花火ショーとしての一大スペクタクル。

(写真協力：大仙市)

大会テーマは「世界の花火・日本の花火」。華々しいスターマインで幕開けし、続く「世界の旅」は、エジプト、オーストラリア、スペイン、ペルー各国をイメージした花火でした。また日本の花火師による尺玉花火の競演、大仙市内の花火業者による日本の春や桜をイメージした創造花火が打ち上げられていづれ

も好評でした。特別プログラムはカナダの業者による「カナダから愛を込めて」(From Canada with Love)。お馴染みのヒット曲に乗せた17分の花火ショー。フィナーレは特大スターマイン。時折の雨の中、見守った観客から盛大な拍手と歓声が沸き上がりました。

花火の文化的価値を高めて継承

春の章は「大曲の花火」としては初の試みでした。今年は桜の開花が早過ぎて、例年ならば絢爛の花の中での花火を楽しむことが出来たはずですが残念でした。しかし各地から三万人もの人が訪れ、寒さも加わった風雨の中、予想以上の観客だったというのが地元の反応でした。

「大仙市花火産業構想」では、花火の文化的価値を高め、それを継承し、広く示す拠点づくりを目指して「花火のまち大仙」の印象付けに取り組んでいます。大曲駅と花火通りを結ぶ地下道が、今度「はなびちか路(みち)」としてリニューアルされました。花火サミットには国内外から大勢の人が大仙市を訪れます。みんな温かくお迎えしたいものです。

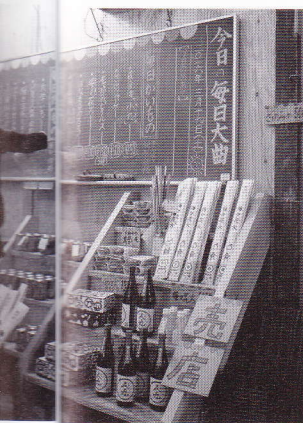


その姿をそのまま残した木造の上屋の内部は、しりと構え、災害対策も万全な内蔵である。

大仙市大曲駅前通りの目抜きのに今年三月十八日、大曲の魅力を発信する新拠点「毎日大曲」がオープンしました。これは地元若手経営者たち14人が設立したまちづくり会社「ひなび大曲LLP」が運営しています。ここは、地場産産品を使って開発された大曲らしい土産品の販売や、市民は勿論大仙市を訪れる人々の憩いの場や、情報発信の新しい拠点として広く注目されています。



「毎日大曲」の切り文字が鮮やか。花火通りからも見える。



販売コーナーには、大仙市の産物がずらりと並んで、訪れる人々の目を引いている。売れゆきも好調だ。

を 改修し食料雑貨店>

「毎日大曲」オープン

オリジナル商品にも力を入れる「毎日大曲」です。大曲産の鮭の燻製「さけジャーキー」、季節に合わせて組み合わせが異なる、国産手持ち花火「毎々花火」、「菓子司つじや」で40年以上も

大曲の魅力発信に 新たな拠点



上は「毎日大曲」の正面入り口。築80年、堂々たる風格に昭和の名残を感じる。

写真左は、地方色豊かに飾られた「毎日大曲」の内部光景



内蔵内部はゆっくりとしたレイアウトで地元産の品々が展示されて評判を呼ぶ

大仙市大曲の中心市街地。大曲駅から街を突き抜くように花火通り商店街が通っています。駅を出て花火通りを一五〇メートル程進むと右側に、以前田村薬局があった場所。その内蔵がこの度修理修復されてお目見えした大曲の魅力・新たな発信地「毎日大曲」です。

ここは昨年十一月に完成した「大曲ヒカリオ」と花火通り商店街のほぼ中間点にあり、新旧の街をつなぐ位置にあります。築80年余の2階建て。延べ床面積約100平方メートル。

蔵内には地元雑貨店「ミヅカ」が入居し、食器や生活雑貨、家具、特産品などを販売しています。その内蔵を囲むように物販コーナーや絵本スペース、奥には休憩スペースも用意されています。



内蔵の内部壁面には絵本も揃えられた。親子連れて訪れて絵本を読み聞かせる微笑ましい光景も垣間見られる。



県内の若手工芸・木工作家の作品が並ぶ店内

「ひなび大曲 LRP」が運営

新スポット

前に作っていた商品の復刻版「はなまるカステラ」などをラインアップ。秋田清酒の純米吟醸酒「人丸（ひとまる）」と甘酒「小丸（ちいまる）」は、持ち帰り用のほか、店内の飲食ブースで飲むことも出来ます。かつて駅前に露店が並び市民に人気だった「大学いも」をはじめ「焼き三杯もち」「大曲納豆汁」などが、店内で味

お客様半数以上が大仙市外や県外から

わうことも出来人気を呼んでいます。「毎日大曲」には、プロジェクトを設置した交流スペースがあり、絵本コーナーには親子で訪れて楽しく読んでの微笑ましい光景を見ることが出来ます。

三月十八日の「毎日大曲」オープン以来、数週間は来場者の多さに驚きました。しかもその半数以上は市外・県外からのお客様でした。秋田市、県南の各市、県外では盛岡や山形県のお客様も目立ちました。遠くは仙台からも。「最近の大曲は面白い」と、知人・友人に発信する動きも徐々に感じられます。



はなまるカステラ

焙煎麹チャイ



軽食もできる交流スペースでは、地元産食材による様々なメニューが並ぶ。糖蜜の素朴な味が懐かしい「大学いも」(300円)、スイーツ、大曲納豆汁、秋田清酒「刈穂」の甘酒「小丸」を牛乳で割った「ミルク割り」(300円)など。

【解説】「ひなび大曲 LRP」大曲の商店主、若手経営者達の出資で設立（辻卓也代表）。「ひなび」は「田舎いし」の意味。商品開発には大曲の素朴さを残しながら素材の新たな見せ方や売り方を追求する。将来は大曲を舞台にした映画製作が目的。「毎日大曲」の開業もそのための足がかりといつ。

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280
HP <http://www.kuroyu.com>

大曲商工会議所

会頭 佐々木 繁治

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町1-13
TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265
E-mail : kaigisho@omagari-hanabi.com
URL : <http://www.omagari-cci.com>

◆エッセー

遠くて近い
ふるさとを思う



浅黄色から黄金色へ少しずつ濃さを増し出した稲田の上を、爽秋の風が渡っていきます。もうすぐ大曲の花火。雄物川の土手では大人たちが、花火見物の機敷作りに大忙し。東山の頂上付近に大きな入道雲が顔を出した夏休みの昼下がり。子供たちは宿題の写生に夢中。

なからのはら
中良野原と

和田徹夫先生

高階光義

(首都圏大曲会会員)

大曲中学校を昭和30年に卒業して61年の歳月が流れた。

私の実家は、大曲の上栄町にあり、小学校は目と鼻の距離で賑やかだったが、当時中学校は町はずれの中良野の地に

④は、卒業後久しぶりに和田先生のアトリエを訪ねた高階光義さん。和田先生は高階さんたちのクラス担任で社会科教師だった。教え子の来訪を先生は肩を抱いて喜んでくれた。⑤は、大曲郊外の中良野原に建つ往年の大曲中学校。現在は秋田県立大曲工業高校が建っている。当時は文字通り一面が田圃。稲穂の波に飲み込まれそうな地域だった



ポツンと建っていた。大曲高校の通りにあった堀内製材所の脇から、真っ直ぐ伸びる一本の農道が通学路である。

ここから先は民家もなく、周りは一面田んぼが広がっていて、その彼方に東山を背景にした校舎が目に入る。春夏秋冬巡りくる大自然の変化とともに育ち、通学した中良野校舎の光景は、今も懐かしく思いだされる。

◆

農道に沿ったセギ(農業用水路)には、ツブ、どじょう、ザッコが生息していたから、夏場はみんな泥んこになって捕ったものだ。稲刈りの頃になると、赤トンボの成群が飛ぶなか、飛び交うハタタギを捕まえて、ビンの中に捕獲した。吹雪の日は遮るものが何もないので、マントを頭からスッポリ被り、小さな隙間から前を覗いて、ひたすら学校を目指して歩いたものだ。

春先の冷え込んだ朝、堅雪渡りは楽しかった。雪原のどこを歩いてもぬかることはない。この日だけは思い思い横に広がって登校ができ、それだけでウキウキした気分になるものだった。

◆

時は過ぎて平成5年5月、

中学校の担任(歯車ルーム)

だった恩師和田徹夫先生宅を訪問した。ちょうどこの月は先生の古稀の誕生日に当たっていたが、先生はお元気で、毎日、趣味の絵を描いているという。見せていただいた。何枚かの中で「散らば・桜」と題したその絵は、当時通っていた懐かしい中良野の風景を思い浮かべて描いたとおっしゃる。じつと見ていると、走馬燈のように昔日を彷彿させてくれる絵であった。

思わず口をついた「先生、この絵頂けないでしょうか」という私の願いに、「人様にあげるような絵ではありませんが、仕方ないですね」と言ってくれました。私は大切に胸に抱いて帰ったのだった。

◆

あれから23年になる。わが家の居間には今も戴いた絵が飾られていて、あの頃のふるさとを思い出させるお宝となった。和田先生は平成24年5月、89歳でお亡くなりになった。訪問するたび大歓迎してくださった先生の笑顔が今も目に浮かぶ。その年の秋、弔問に際して私は、生前賜ったご恩に感謝し、仏前に次の詩を捧げたのである。

今は奈(な)き 中良野原の

我が校舎

恩師の音声(おんじょう) 耳朶(じだ)に残りて、安らかに 眠るがごとく 天国へ

父母の御胸に 深く抱かれ、未来世(みらいせ)も 我らの担任 必ずや 歯車ルームの 教え子集ひて 合掌

和田徹夫先生、ありがとう ございました。(たかしな みつよし 千葉市稲毛区在住)

最近の大曲は

面白い!

辻 卓也

(ひなび大曲LEP代表)

首都圏大曲会のみなさまには、日頃から私たちの活動へ温かいエールを賜り、心から感謝申し上げます。花火通り商店街や土屋館衆、大曲納豆汁、花火ウィークなど大曲の若手が取り組む様々な活動を『ふるさと大曲』で取り上げて頂きましたが、昨年より次なるステップ『大曲の映画』制作に挑戦を始めています。

大仙市が全国に誇る「大曲

大曲来街者と住民交流の場 ―「毎日大曲」

の花火」は、周りが羨むほどの魅力的かつ最強のネームバリューと、集客力を持ちます。花火の町として歴史・文化・産業により一層の磨きをかけるために、官民挙げた花火産業構想が進行中です。一方で花火大会以外にも地域の魅力を発信し、日常の来訪者を増やす取り組みも重要です。

そこでこれまで重ねてきた様々な事業を集結し、さらに効果的に市外・県外へ発信し、来街者と大曲ファンを増やすことを目的に、花火以外にも誇れる地元の魅力【ヒト・コト・モノ・バショ】を今の大曲の映像に写し込み、多くの人に観てもらえる映画を制作して、全国公開をしたいと考えました。

大曲の何を、誰に、どのように見せるかを吟味しながら、まずは魅力的な舞台を創るために、今春大曲駅前で築八十年の内蔵(田村薬局所有)を改装した土産・雑貨店【毎日大曲】をオープンしました。ここは単なる物販施設ではなく、来街者と住民が交流し、情報発信できる場所です。花火が大曲の「ハレの舞台」である一方、日々、日常の暮らし「ケ」の豊かさ・素晴らし

さを伝える場所でありたい。ということから、毎日来たくなる場所になるよう「毎日大曲」と名付けた所以です。

オープンすると、クチコミやインターネットを介して、若い女性を中心に市外・県外から来店者が増えております。大曲が面白いという雰囲気や空気が徐々に周辺地域に伝播し始め、最近は大曲駅前にカフェやアパレル、飲食店などの新しい店舗を構える若い人が増えていきます。

また場所づくりだけでなく、映画に写し込むことで拡販につなげる新しいお土産品「毎日大曲ブランド」の商品づくりにも取り組んでいます。当地にもともとあった素材を、魅力あるパッケージや仕様に仕立て直した品々は、お土産や贈答品として、県外へも胸を張って贈れると好評です。

大曲に地縁血縁のある全国のみなさんが、「この映画を見ればわが地元の素晴らしさが分かる」と周りに誇り、薦められる今の大曲の魅力を詰め込んだ映画を作りたい。また映画を見た人々が大曲へ行ってみたいと思ってくれる映画を作りたい。

映画制作には大変な資金と労力が必要です。簡単に出来ることはありません。首都圏大曲会のみなさまにもぜひ応援していただきたいと思えます。まずは大曲へ帰郷の際には、大曲駅前の【毎日大曲】へぜひお立ち寄りください。(つじ たくや 大仙市大曲在住「土屋館通信」主宰者)

幻相の

わがふるさと

今井 幸子

(首都圏大曲会会員)

ふるさとを思う心も年齢と共に変化して来るもののようにです。東京に出て来て早くも半世紀。その頃の私の頭の中は、ふるさと恋しさで一杯でした。

やがて東京に住み慣れてくると文字通り住めば都となつて、ふるさととは少しずつ私から離れて小さくなって行きました。それは東京という都会が、大きく絶え間なく動いているからでしょうか。それとも多くの人との人間関係が複雑に広がり、ついふるさとへの想いを綴る時間も希薄にな

なっていたのでしょうか。やがて時が変わり、ふるさとも動きだしました。

私が東京に来た頃は、大曲駅から上野まで十二時間余の汽車の旅でした。次第にスピードアップが図られ、「特急つばさ」が走り出し、上野までの乗車時間は八時間に短縮されて喜んだものです。なんだかふるさとが近くに感じられたのもこの頃のことです。

そういう感覚の変化する中でふるさとの姿も変わりました。たまに帰ると、子供の頃に通っていた曲がりくねった砂利道も真直ぐに改修されて、すっかり舗装されていました。夏が来るとみんなと一緒に泳いだ川は姿を消し、護岸工事がなされ「水泳禁止」の立札が立っていました。

初夏には「よしきり」がギャギャッ ギャギャッと啼いていましたが、その声も聞かれなくなっていました。夏には木陰をつくってくれた林も田圃に変わっていました。田植え時、カッコーのうるさ過ぎるほどの啼き声、スカンポに塩をつけて食べると初夏の味がしたあの頃。

辛く長い戦争は終わって

も、甘いお菓子などはない時代、子供たちは生きることだけに遅かった。秋はイナゴが幾らでも捕れてそれは佃煮に。イナゴは今ではすっかり貴重品になりました。語り出せば尽きません。

今の私は傘寿も過ぎ、病を持って、ふるさとにもおいそれと帰れなくなりました。

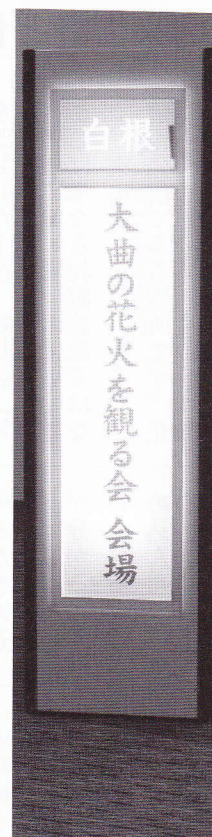
そんな私にも子供の時から懐かしく、生きる力(勇氣)を与えてくれる景色があります。生まれ在所の高岡から見える東山(奥羽山脈)と西山(出羽丘陵)です。私のふるさととは、この二つの山並みが向かい合う絶好の場所に位置していました。子供の頃から四季折々の風景が今も変わらず、しっかりと私の脳裏に焼き付いているのです。

町や住まいの様子は変わっても、東山の頂きから、輝く太陽が昇り、やがて西山の頂きを真っ赤に染めて沈んで行くあの光景こそが、現在の私の幻相です。あの景色、光景が年齢とともに鮮明に心に焼き付いて、それは決して消えることはありません。

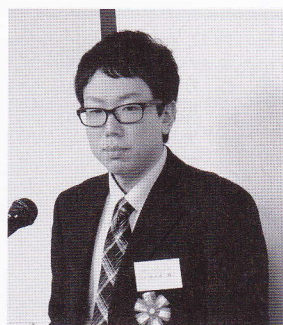
これが私のふるさと・当時の四ツ屋村高岡です。(いまい さちこ 東京都江戸川区江戸川在住)



首都圏大曲会の幹事会での話。『大曲の花火』には仕事で忙しいとかなかなか帰れないと嘆いている人に会いまして。そうか、それならDVDでもいいから花火を観る会をやるかと話しはとんとん拍子に決まり、あれから七年が経



「大曲の花火を観る会」会場は部屋の前を通る人の目を引いた

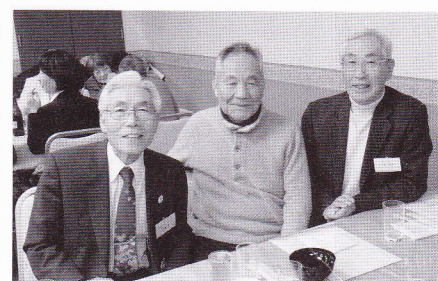


①は、大仙市の近況を話す高橋正人課長、②は、乾杯の発声をする佐々木翔主事

ちました。折角だから花火を観て、その後はカラオケ大会にしよう。以下「花火を観る会」
今年の「花火を観る会」は二月二十日(土)午後一時から、東京のアルカディア市ヶ谷で開催されました。総合同



「都わすれ」の佐藤京子女将もにこやかに



久しぶりに旧交を温める同級生たち

「観る会」開く

第7回

ふるさと偲ぶ



自分の歌声にうっとりする・・・

詠え、お酒はわざわざ大曲のお店から大仙市産の銘酒を取り寄せる手際の良さ。ついでにいぶりガッコも仕入れて、雰囲気はほとんど雄物川河畔です。毎回四十名を越したり不足したり参加者ですが、今年は出足から好調で、映像が始まるころは、会員ではないが一度大曲の花火を観たかったなどという人なども交えて、六十名を越す勢いで参加者は増えて行きました。
この行事には大仙市から、栗林市長のご理解のもとに、企画部まちづくり課の高橋正人課長と佐々木翔主事が出席。多くの参加者に接して頂きました。大釜会長の歓迎の挨拶に続き、高橋課長から、大曲ヒカリオ完成後の活性化された街の状況や、来年4月に開催される花火サミット等に触れた近況報告がありました。佐々木主事の乾杯の発声で第七回大曲の花火を東京で

観る会の諸行事は賑やかに開始されました。

今年も東京中良野会(昭和14年生、大曲中卒)の高階光義さん編集によるDVD「懐かしの大曲」を発表して頂き大好評でした。(別掲)

花火弁当をつまみ、秋田銘酒で胃の腑を満足させ、花火映像は誰もが見るともなくしつかり観ていて、予定の一時間は瞬く間に終わってしまいました。続いてのカラオケも大いに盛り上がり、声自慢、のど自慢の人は切れることなく、軽快なリズムの司会築地副会長の調子に乗せられ、大いに歌いまくりました。

本醸造生貯蔵酒

ひでよし——ひょうたん

お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

(名)鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0187-5672121

300ml ¥389(税込)

鳥子舞・大曲の綱引き・おおまがり慕情

「懐かしの大曲」(DVD)大好評

高階光義さん特別提供の映像

「花火を観る会」で高階光義さん制作のDVD「懐かしの大曲」はすっかりお馴染みになりました。生まれ育った大曲を収録した映像を見て、その懐かしさに心が打たれるのです。

今回高階さんは、諏訪神社の「大綱引き」に加えて、明治の初めに諏訪神社境内に移された愛宕神社の「鳥子舞」

を取材し編集しました。それとともに黒皮羽生さん(首都圏大曲会幹事)作詞の「おおまがり慕情」に合わせ、大曲



「“大曲の花火”を東京で

首都圏大曲会主催

みんなでカラオケも楽しみ

首都圏大曲会の仲間みんな唄上手。明るい声、泣い声でしみじみ歌えば、誰れもが静かに聞きほれる



「おおまがり慕情」では懐かしい丸子川の景色が映し出された

を抒情的に紹介しています。「大綱引き」「鳥子舞」ともに大曲の伝統的な行事として



鳥子舞は大曲の市神様(愛宕神社)の祭事



大綱引きは大変な人混み中で行われる

広く知られるお祭りです。特に「鳥子舞」は、大曲の市神様の祭事として行われて来たものだけに、それだけ多くの人々に親しまれています。歳をとるにつれて大曲にも帰れなくなってきたので、夏の総会でも大曲の光景を収録した映像を映して欲しいと、事務局には古い会員からの希望も寄せられています。

旬の秋田が高輪に。

Dining & Shopping

あきた美彩館
Akita Bisaikan

京急本線品川駅 JR品川駅 高輪口 徒歩3分

東京都港区高輪4丁目10-8
ウイング高輪WEST-III 1階

TEL 03-5447-1010 <http://www.akita-bisaikan.jp/>

「お料理」と「おもてなし」が好評です

グランドパレス川端 プライダルハウス『フォレスト』

山の手ホテル 葬祭千の川『沙羅』

フォーシーズン 葬祭千の川『顕彰庵』

グランドパレス川端グループ

大仙市大曲浜町7-39 ☎0187-62-0354

“大曲の花火”物語

— この夏、第90回全国花火競技大会

語り人 賢木新悦

(大曲商工会議所副会頭)

大会でもっとも人気のある大会提供花火。昨年の大会のテーマは「あさきゆめみし」源氏物語の主人公・光源氏の栄華と苦悩を表現した

「豊かに流れて雄物川 夜空に舞う華美しく こころふれ合う夢の街」(大仙市民の歌)。今年も大曲に夏を彩る花火の季節がやって来ました。第90回を迎える伝統の花火大会。今大曲の花火に、各面から強烈な光が当てられています。花火産業構想が動き出し、来年は大川西根の地に新しく花火製造会社が産声を上げます。4月には花火世界サミットが大曲で開催されます。そこでお馴染みの賢木新悦さんに、「大曲の花火」物語として大曲の花火事情を解説して頂きました。

活気づく 花火産業構想

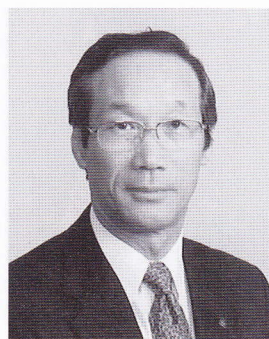
伝統 大曲の花火文化を継承

来年は国際花火シンポジウムを開催



の滝が走る

毎年、梅雨の季節を迎える今頃は、夏の大会に向けて準備が最終段階に入る時期ですが、平成26年3月、大曲商工



賢木新悦さん



第88回大会で内閣総理大臣賞に輝いた茨城県の野村花火工業提供の特別プログラム「光の彼方へ」

秋の章のテーマは「あおのものがたり」

昨年から「大曲の花火・秋の章」として10月の第二土曜日に開催し、3年目の今年10

まもなく工場の建築に取りかかりますが、早々と来年の4月には操業開始となります。

新しく大仙市に建築される花火製造会社、「株式会社花火創造企業」の工場は、大川西根の中沢工業団地に造成中です。

会議所と大仙市、大仙市商工会とで立ち上げた「花火産業構想」に基づいて様々な取り組みが始まり、今年は格別に忙しい日々です。



第89回大会で内閣総理大臣賞を受賞したイケブン(静岡)の作品
「宇宙誕生！ビッグバン現象と華麗なる星々」

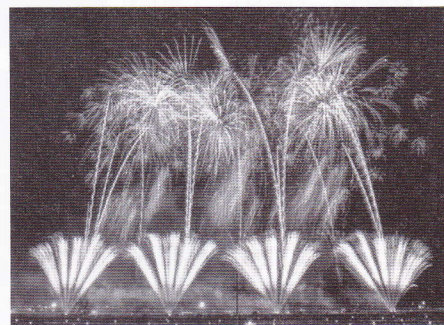
花火ブランド活用の観光や商品開発

月8日、テーマ「あおのものがたり」として開催します。鮮やかな秋田の紅葉を見て、夜には大曲の花火を楽しむ観光客が増えています。

冬の章はこれまでの

「新作花火コレクション」

「大曲の花火・冬の章」は、従来NPO大曲花火倶楽部で開催してきました「新作花火コレクション」が、その役割を果たすことになりました。



しつとりと「あさきゆめみし」扇の形が印象的

冬に開催していた「新作花火コレクション」は、今年第25

回目の開催を迎えることになり。全国の若手花火師が、斬新なアイデアの花火で競い合う将来性あふれる夢のある大会です。

春の章 花火サミットを

来年に控え プレ大会



千紫万紅 華乱舞 その下をナイアガラ

「大曲の花火・春の章」は、4月29日の国際花火シンポジウムを来年に控えプレ大会として桜の開花に合わせて開催しました。

国際花火シンポジウム

シドニー、ビルバオに

競り勝ち大仙市に決定

さて、第16回国際花火シンポジウムは、昨年、フランス・ボルドーで開催された第15回大会で決定しました。大曲からは栗林市長、橋村議長、佐々木大曲商工会議所会頭始め25名が参加。PR活動、最終のプレゼンテーションを終え大曲開催が決定。最後まで予断を許さない接戦でしたが、ライバルのオーストラリアのシドニー、スペインのビルバオに競り勝ち決まりました。勝因は、素晴らしい日本の花火の評価と90年に亘って競技大会を運営している組織力が

評価されました。世界から40近くの国の花火研究者や花火部品の製造会社、花火師、約500人が来曲します。開催期間は4月24日から29日まで、研究発表、見本市、そして毎日花火が雄物川河川敷で打ち上がります。有料観覧席を設置しますので是非ご来場ください。

この国際会議を成功させるため昨年の11月に第16回国際花火シンポジウム事務局を大曲商工会議所内に設置。市職員と商工会議所職員で構成するスタッフが準備を進めています。

故郷でのお集まり、お泊りに

西根の湯っこで

遊ったりのんびり

喜ぶ顔がみたいから

姫神温泉

スパ

西遊喜

大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639

大会テーマは昨年同様に 「行雲流水」で決定!

サブテーマは「礎・90・創」

90回を記念 ナイアガラに厚みを加える

第90回全国
花火競技大会
大会提供花
火のテーマ

ベートーベンの
「歓喜」

さて、第90
回全国花火
競技大会です
が、今回も素
晴しい花火鑑

賞環境を作るために改善を
しています。

まず観覧席ですが、下に
150m移動しました。これ
は打上げ位置と観客席を一致
させるためです。また両側に
5千席の椅子席を配置しその
外側に自由席を設けます。

打上げ場ですが、2年間、
雨の影響で打上現場はどろど
ろの苗代状態でした。これを
改善するために国土交通省、

大仙市役所の協力を得て作業
を進め、日本一の打上げ場を
目指しています。

さて、花火の内容ですが、
大会テーマは昨年と同じ「行
雲流水」、サブテーマは「礎・
90・創」です。

夜の部のスタートのナイヤ
ガラ花火は90回を記念して厚
みを出します。さて、皆さ
んお待ちかねの大会提供花火
ですが、テーマは「歓喜」で

す。ベートーベンの交響曲第
9番合唱の音楽と花火のコー
ボレーションです。この曲は、
昨年、一昨年の「ボレロ」と
同じで使用した曲でしたが
中々踏み切れませんでした。
今回90回記念ということもあ
り思いきって演出します。ポ
スターの大会提供の歓喜は大
曲高校の書道部に揮毫いただ
きました。

今回の審査員に大仙市中仙
出身、新進気鋭の若手舞踊家
米沢麻佑子さんが加わります。
若い女性の視点からの審査が
期待されます。

花火の街大曲の「四季の花
火」をお楽しみください。



紅屋青木煙火店(長野)提供の
「闇夜のページェント ～放たれ
る光のイルージョン～」



通り過ぎて行った雨も遠ざかり、爽やかな風吹く雄物川河畔。
70万を越す大観衆は、世界に誇る光と音の芸術に酔いしれた

大地の恵みとともに

秋田伝統の
銘酒 川穂

TEL 0187 (63) 1224
FAX 0187 (66) 2277

http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp

・お酒は二十歳になってから。お酒はおいしく適量を。
・妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

秋田の心を醸す

雪蔵 銘醸 出羽鶴

秋田清酒株式会社

秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢83の1

株式会社 三和

株式会社三和は
首都圏大曲会を応援します！

代表取締役

斎藤 昭彦

〒107-0052

東京都港区赤坂2丁目17番65-411号

TEL：03-3586-8055

FAX：03-3583-1594



事務所



代表取締役
小松 忠信
(五代目)

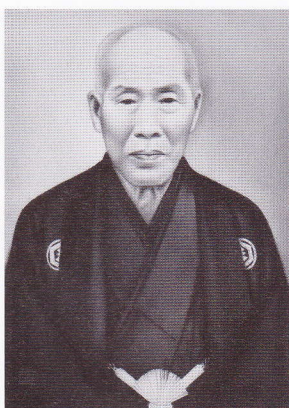
株式会社 小松煙火工業

本社：秋田県大仙市内小友字宮林6
工場：秋田県大仙市内小友字中田宮東345

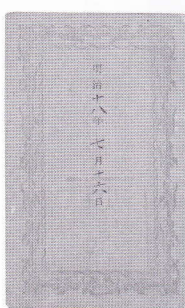
創業 明治18年7月16日(1885年)
設立 昭和60年10月 法人化(有限会社)
平成12年1月 株式会社へ組織変更
資本金 1,000万円
年間生産数量 約6万発

従業員数 製造部門 24名
打上部門 134名
業務内容 煙火の製造及び販売
火工品・特殊効果の販売

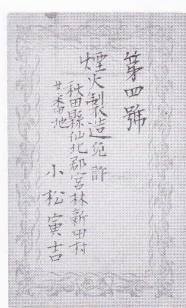
創業者 小松 寅吉(初代)



煙火製造免許の裏側



煙火製造免許、明治十八年七月十六日の日付が読める



会長 小松 忠二
(四代目)

大曲の花火、今年は第90回という節目の年を迎えます。花火産業構想も動き出し、来年は花火サミットが開催されます。ところで御社の創業はいつ、どこで、どなたが始められたものですか。

小松 残されている記録ではつきりしていることは、創業は明治18年、西暦では一八八五年の夏、秋田県仙北郡内小友村宮林新田となっていますから、現在のこの地ですね。

創業は初代小松寅吉、二代目宮治、三代目房之助、四代目が現会長の忠二となります。操業日は当時の秋田県知事から許可を頂いた日にしています。しかし実際はそれ以前から花火に関わっていたようですが、残念ながら記録が残っていません。

大曲地方の花火は昔から盛んだったのでしょうか。

小松 江戸中期に、丸子川のほとりで花火を打ち揚げている絵巻物が大曲の諏訪神社に

モットー

想像は無限

挑戦に限界はない



10号玉五重芯変化菊の開発成功が
内閣総理大臣賞受賞につながった



3月に開催される新作花火
コレクション「ランタン」が
金賞を受賞

残っています。大曲界限は花
火の盛んだったところと思わ
れます。当時から花火が地域

の文化にあったと記録されて
いる資料もあるようです。

◆◆

江戸中期から
丸子川を会場に

大曲の花火の歴史の中で、現在
のように華やかな大会になったの
はいつ頃からですか。

「大曲の花火」は明治43年か
らの奥羽六県煙火共進会とし
て競技会が始まったといわれ
ます。花火業界での知名度は
早くから高いものがありまし
たが、現在のように全国から
注目されるようになったのは、

協議会の質の高さは勿論のこ
と、昭和60年代から企画され
た音楽と花火の融合や、広大
な打ち揚げ場を利用した演出
の結果だと思っています。

弊社は、花火と音楽を融合
させた演出を、業界の中でも
早い段階から取り組み、その
結果、各地の花火イベントの
演出機会を得ることになりま
した。

小松煙火工業さんはこれまで、
諸外国で花火を打揚げていますね。
小松 主な打ち揚げ国、イベ
ント等は17ページに掲載の通
りです。ヨーロッパやアメリ

主な打揚げ作品

◆国内

東北地方を中心に展開しているが、全国的には
100か所を越す花火大会、各種イベント、競技会へ
の出品及び打ち揚げを担当している。特に大曲全
国花火競技大会には第1回から昨年の第89回大会
まで連続参加を果たしている。

◆海外

ボン・西ベルリン・デュッセルドルフ（旧西ド
イツ）、ロサンゼルス五輪閉会式・自由の女神100
年祭（アメリカ）、バンクーバー万国博覧会（カナ
ダ）、ブタペスト100年祭（ハンガリー）、太田万国
博覧会（韓国）、タイ国王生誕記念祭（タイ）、台
南世界花火コンクール（台湾）、マニラ湾花火（フィ
リピン）、香港クリスマス花火（旧香港）、2000年
台北花火節・2001年台北花火節・2002年台北花
火節（台湾）、2002年台北県海洋音楽祭（台湾）、
2002年ソウル観光ハンマダン・2003年ソウル観光
ハンマダン（韓国）、2006年タイ国王在位60年記念
花火・2015年タイ国王女還暦記念花火（タイ）

主な褒章

■全国競技会に於いて

内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞、通商産業大臣賞、
文部科学大臣賞、中小企業庁長官賞、科学技術庁
長官賞、東北通産局長賞、関東通産局長賞、中部
通産局長賞、秋田県知事賞、知事賞、静岡県知事
賞、新作花火コレクション金賞、国際デザインフェ
ア銀賞、ほか多数受賞

<その他の賞>

伝統工芸品産業小規模産地功労者賞（平成11年度）
火薬類保安優良事業所通称産業大臣賞（平成12年
度）秋田県優良技能者賞・秋田の名工（平成15年度）
厚生労働大臣卓越技能賞・現代の名工（平成22年
度）経済産業大臣賞はばたく中小企業小規模事業
者300社（平成28年度）

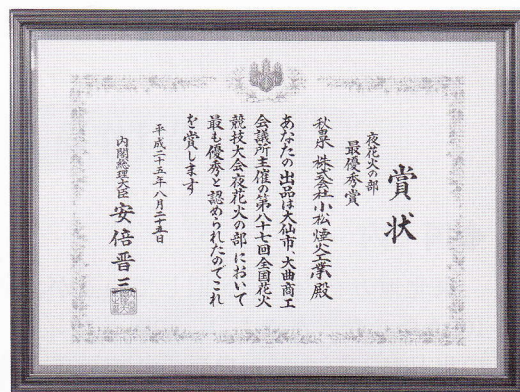
◇花火の玉皮をこれまで以上に自然にやさしい新
素材で作ることに成功。水に溶けやすく土に還り
やすい新素材でゴミの少量化にも役立つ世界初の
試みです。

平成26年、第88回大曲の花火で
念願の内閣総理大臣賞を受賞した

大玉の仕込み作業



昨年の大曲の花火 自由玉の部
「茜空」で、文部科学大臣を受賞



小松煙火工業構内に鎮座する神社。社員の安全を
祈願し全幅の信頼を集める。今年4月、全社員の
顔合わせに際し、社前で新たに安全を誓い合った



小 松 宮 治
(二代目)



小 松 房之助
(三代目)

カ、韓国、台湾、東南アジア
の国や地域などいろいろです。

◆ ◆ ◆ 内閣総理大臣賞は 初めての受賞でした

御社は第88回「大曲の花火」で
見事内閣総理大臣賞に輝きました。
大曲を古里とする者として高い誇
りを感じました。

小松 内閣総理大臣賞は初め
での受賞です。10号玉芯入り
部門で五重芯変化菊の成功が
評価された結果と思います。
この作品の成功までには8年

間の歳月を費やしました。

「大曲の花火」に出品しては
失敗を繰り返して、父や社員か
らも方向修正を促がされるこ
ともありましたが、諦めずに
挑戦し続けたことでこのよう
な大きな成果を得られ、ホッ
としたものでした。(笑)

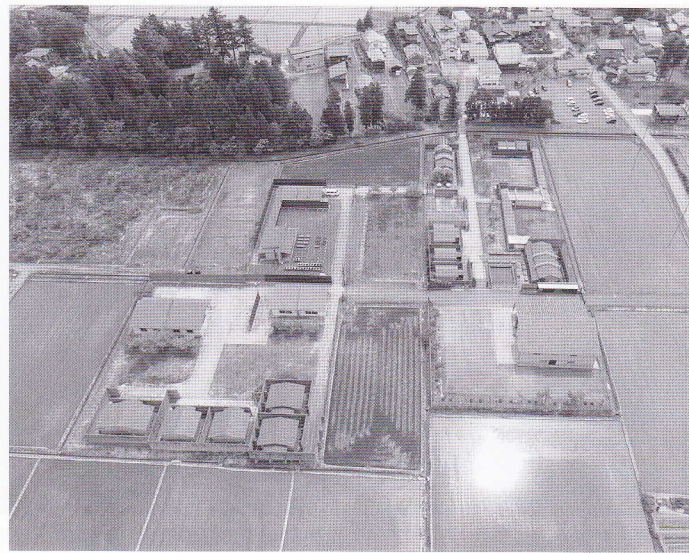
これまでも色々な栄誉ある賞を
受賞されていますね。

小松 これも17ページに掲載
の通りです。花火そのものの以
外の褒章もあり、どれも大変
栄誉ある賞だと思っております。

花火サミットは 世界進出への好機会

平成29年には大仙市で「第16回国際花火シンポジウム」(花火サミット)が開催されます。このような国際会議を開催するに際して、花火業者としての感慨、思いをお聞かせください。

小松 世界の花火関係者に、日本の花火の高い技術と芸術性を直に体験していただく絶好の機会です。また国際会議開催の6日間は、毎日花火が打ち揚げられますので、多くの観光客を誘致する機会でもあります。



工場上空から見た小松煙火工業。安全第一をモットーに工場は人家を避けて建っている。周囲は一面に広がる田園地帯である

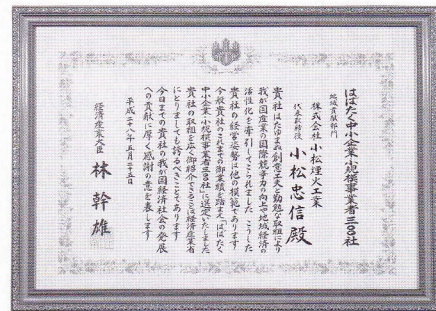
この機会に、一年中花火が打ち揚がるこの地域を「花火のまち」として、大いに発信していきたいと考えております。

ところで、小松煙火工業の企業モットーをお知らせください。

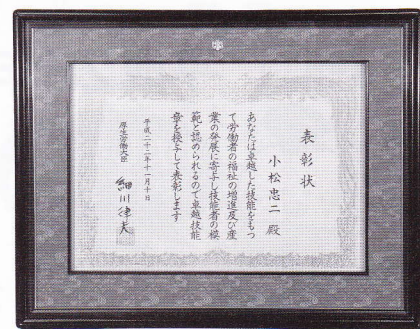
小松 わが社の企業方針は、「創造は無限、挑戦に限界はない」です。

誰も未成功の「六重 芯花火」に挑戦中

方針を具現化するために、社長を初め社員のみなさんはどのような努力をされていますか。



全国から300廠選の中小企業表彰にも選ばれた



労働福祉面でも厚生労働大臣緒表彰を受けた

小松 日本の花火は、その技術や芸術性の高さにおいて折り紙つきです。これは、全国の花火製造業者が絶えず切磋琢磨し、新たな技法を編み出し続けている結果です。そのような環境の中にあつて弊社も業界に先駆けて新しい技法に挑戦し続けております。失敗を恐れず、そして諦めず。この精神が五重芯花火の成功につながりました。

現在は、未だ誰も成功していない「六重芯花火」に取組んでいます。いつかは必ず成功すると信じております。

インタビューを終えて

大 釜 茂 璋

第90回「大曲の花火」も近く、大変お忙しい中、インタビューに

応じていただき大変有難うございました。代々築き、それを受け継いで、現在の優れた技術、芸術性を育んだものは、人の和、人の力そして小松煙火工業の代々がそうであつたように、探求する旺盛な情熱だつたと思います。そこでは、社長を中心に社員一丸となつた日本的な継続した力が維持され、発展に活かされる要因になつていました。その日本的な経営の中にこそ、世界で受け入れられた品質と安心感があつたのです。

まさに百年を越す「大曲の花火」の活力を感じる社長インタビューでした。大仙市花火産業構想の本格的なスタートにふさわしい花火サミットの誘致成功。私たちの古里大曲が花火の街として、世界に向けて強烈に発信できるこの機会を、みんなで出来る限り盛り立てて行きたいと思ひます。

(首都圏大曲会会長)

毎日のおいしいをうちあげています

株式会社 タカヤナギ

GRAN MART akayanagi

心と心のふれあいのスペース

お泊り・レストラン・各種宴会に

ご利用をお待ち申し上げます。

大曲エンパイヤホテル

〒014-0015 秋田県大仙市大曲白金町8番17号
Tel 0187-63-1131 Fax 0187-63-1541
URL <http://o-empire.com/>

大仙市がやってくる！



大仙市の物産や観光を、東京のど真ん中でPRしようとの壮大な試みで始められた「大仙市ふるさと物産フェア」は大成！今年も11月11日（金）、12日（土）の二日にわたり、東京・有楽町の駅前広場で賑やかに開催されるとの発表がありました。

「大仙市ふるさと物産フェア」は、大仙市出身者はもちろんのことで、これまで秋田県をあまり知らなかったという人も含めた大勢の首都圏の人々到大歓迎を受けるに至っています。

物産フェア最初の年は、在京のふるさと会の支援もあり、郷土芸能なども揃えてそれは賑やかなお祭りでした。そして回数を重ねるにつれて商品の良さが歓迎され、今は本格的な物産販売に集約されました。今年も様々な特産品の展示とともに、「大曲納豆汁」や「キリタンポ」など、ご当地グルメもフェアを賑わしてくれるでしょう。どうぞこの秋の家族総出の楽しみに、ご友人もお誘いしてぜひ有楽町駅前広場へお越しください。

日時 平成28年 11月11日(金)~12日(土)

※11日(金)は12:00~19:00、12日(土)は11:00~18:00



わたしたちも
まってま〜す!

大仙市マスコットキャラクター
◀「まるびちゃん」

「大仙市ふるさと」
今年も大仙市の魅力をご紹介します。
特産品・農産品・小売業のご案内。
観光情報や遊びのスポットもご紹介します。
ぜひ、関係者様へ
お越しください。

[ドンパン節]

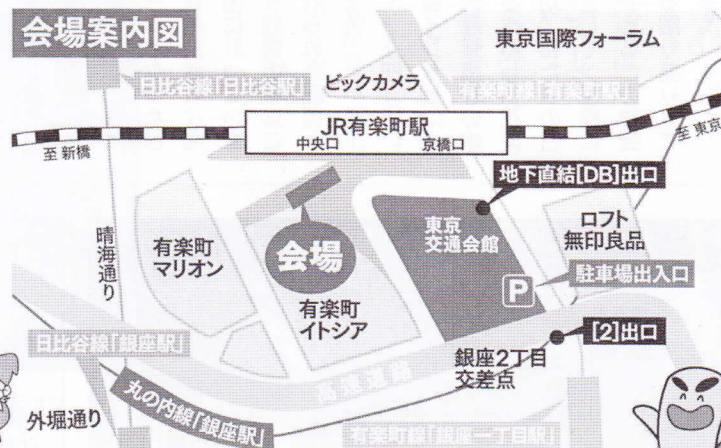
昨年、好評いただいた

「大仙市ふるさとの
力いっぱい」

ドンバンじっちゃん▶

会場 有楽町駅前広場

会場案内図



【お問い合わせ】

主催／大仙市・(一社)大仙市観光物産協会 共催／大仙市商工会・大曲商工会議所 後援／東京都千代田区

(一社)大仙市観光物産協会 ☎ 0187-88-8481 大仙市役所観光交流課 ☎ 0187-63-1111

大曲の花火公式キャラクター
「つっどん」とたまちゃん」

私たちの古里が いきいきと輝くために

「生まれはどちらですか」「はい、大曲です」「ああ、あの花火で有名な・」「今は大仙市といえます」こうして私たちは自分の故郷を少しでも良い印象で受け入れて貰おうと一生懸命話すことはよくあります。大仙市を古里として応援して下さる方々の想いを形にすることを目的に、ふるさと納税制度が実施されてきています。今度大仙市では、この想いに加えて、ふるさと納税に対する返礼品を、市をPRしているためのツールに捉え、物産開発や観光推進に結びつく制度の追加に向けて準備を進めています。



保育園の先生の読み聞かせに園児たちは夢中です(刈和野保育園)

ふるさと納税に ご協力ください！



「ふるさと納税文庫」に喜ぶ中学生(南外中にて)

大仙市のふるさと納税 活用とする四つの分野

大仙市は次に掲げる四つの分野において、納められた資金を市の未来に向け効果的に活用しようとしています。

【観光分野】大仙市の魅力ある観光資源を活用した観光交流事業の発展のために。

【高齢者福祉分野】高齢者時代を迎え、地域が支える高齢者福祉事業の充実のために。

【自然環境分野】次代に残す大仙市の、この豊かな自然環境の保全事業のために。

【子育て教育分野】健やかな成長を願う子育てと、大仙市が誇る教育の充実に関わる事業の充実を進めるために。

「ふるさと納税文庫」 の整備充実がすすむ

ふるさと納税による事業で大仙市が、一番初めに取り組んだのは市内の保育園から小学校、中学校に設置した「ふるさと納税文庫」。児童・生徒の考えを積極的に取り入れて本を選ぶことができた制度です。

寄附への お礼が変わります！

■寄附のみご希望の方々へ
(大仙市への支援受け入れ)

ご希望に応じて左記の返礼品

・広報一年間無料送付

・大仙市カレンダー

・特産品開発コンクール入賞作品詰め合わせ

■特産品の返礼で市をPR
(大仙市への支援受け入れ

+特産品のPR)

ご寄附頂いた額に応じ返礼品として市の特産品を送付

・大仙市産特別栽培米

・市内酒蔵絶品のお酒

申込み方法と入金方法も
変わります！

・インターネットを使った申込み受付がご利用できるようになります。

・クレジットカード決済による寄附金の入金が可能です。

・クレジットカード外での寄附は、これまで同様大仙市へ直接お申込みいただきます。

「ふるさと納税」として 寄附の手続き法

1 寄附申込み書による 申込み

○寄附申込み書に必要事項を記入し、郵送、FAX、または電子メール、もしくは大仙市役所まちづくり課へ直接お申込みください。

○申込みの際に、入金方法など寄附金の払い込み方法をお知らせください。

○寄附申込み書は、大仙市役所のホームページからも入手できます。

2 納付書の送付

○お知らせ頂いた寄附の方法に基づき、まちづくり課から納付書をお送りします。

3 寄附金のお振込み

○納付書により、最寄りの金融機関等をご利用くださいます。

4 寄附証明書の発行

○寄附して頂いた皆さまには後日、大仙市役所から寄附証明書を発行・送付します。

【問合せ・申込み先】

〒014-8601

大仙市大曲花園町1番1号

大仙市役所まちづくり課

電話 0187-63-1111

Fax 0187-63-1119

メール

nach@city.daisen.akita.jp

大曲出身の

若きエンターテイナー たち

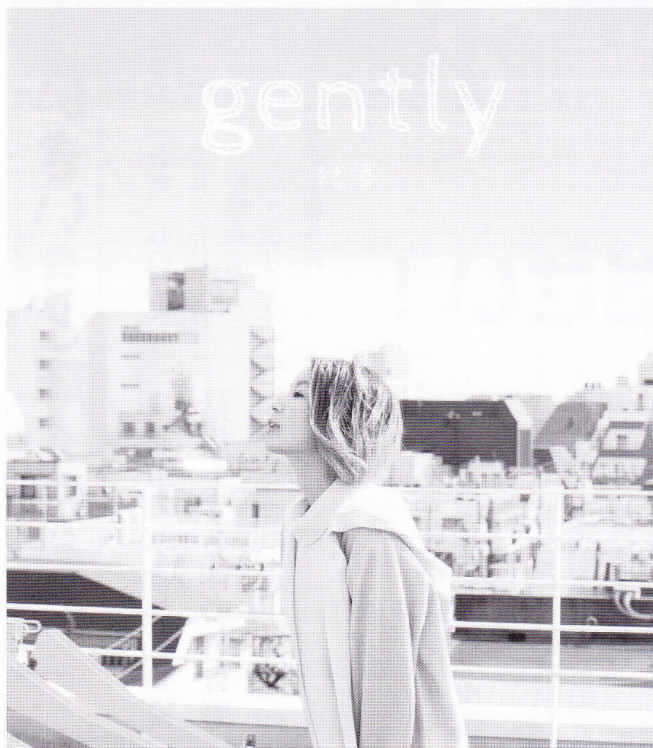
ガンバレ!

みんなで応援しています。

昔、大曲界隈の町や村では、地元神社のお祭りでは必ず舞台がかり、近所の若い衆がにわかエンターテイナーに扮して歌や踊りを披露し、村芝居では境内を埋めた大観衆を前に大見得を切っては拍手を浴びていました。そういう風土の中から今は、東京を中心に全国規模で活躍する人が出てきています。首都圏大曲会は、大きく飛翔しようと頑張る若いエンターテイナーたちを応援しています。

デビュー5年目を迎える歌姫

結 香 YUKA



神すぎる歌姫 結香がうたう

2nd.Mini-Album

「gently」

やさしさに包み込むシルキーボイスが
醸し出す癒しと希望の歌

【Album概要】

2016年4月でデビュー5年目を迎える歌姫結香。2011年4月、ゲーム主題歌でのデビューを皮切りに、これまでシングル5枚、アルバム1枚をリリースし、2014年から本格的にライブ活動も開始。その安定した歌唱力とシルキーボイスともいえる心に沁みる歌声が醸し出す歌の世界に癒され勇気づけられるファンも急増中。

その実力は確実に認められてきており、デビュー5年に当たり通算7枚目となるミニアルバムは、「人の心を癒す」歌声、そして明日への「希望と勇気を与える」シンガーをテーマにしている結香ならではの「やさしさ」と「いやし」の歌世界をお届けする。

【楽曲紹介】

「gently」には全7曲を収録。「僕らの足音」は、軽快なアップテンポの音に乗せて「僕らしく、君らしく生きていこう」というメッセージを歌うポップナンバー。「笑顔」では、しっとりとした少し大人なラブバラードで、「心の幸せ」を大切に、手を取り合って同じ未来を描いていこうと歌う。「Just Alive」はギターサウンドががっつりフューチャーされたキャッチャーメ

両親と民謡一家をなす畠山光洋さん(写真右)は、母親の民謡歌手千葉トシ子さんの出身地が大仙市四ツ屋。光洋さんは民謡一家の一員として今は津軽三味線の佐々木光儀



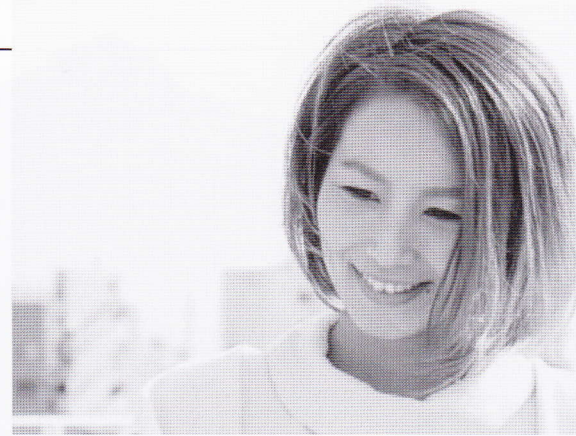
津軽三味線の畠山光洋さん

秋到来に合わせ大忙し

9月19日 京成線青砥でライブ開催

線ライブ」を開催。昨年も開催して好評を博したものの、他に9月は那須高原で家族ライブ、佐倉市(24日)、八千代市(25日)と津軽三味線修行の旅は続きます。

家元に師事し、研鑽を積んでいる。この秋もスケジューリングは混み、9月19日は京成線青砥駅前の「ユアエルム青砥」1階で「畠山光弘津軽三味



頑張る結香さん

口で、ずっと気を張って生きるの大変だけど、「深呼吸して空を見あげて、一歩ずつ歩いていこう」という勇気を貰える1曲。2015年発売のシングル「ねえ」はピアノだけの弾き語りで好評だが、本アルバムではギターやストリングスのサウンドで、Remixされ、美しい旋律が際立って秀作となった。同曲は大仙市の観光PR映像のテーマ曲となっている。「愛のまなざし」は元々車いすで、人差し指一

本で弾くピアノリスト岩崎花奈絵のピアノ曲として作曲されたものを歌唱曲にアレンジしたものの。この星に生まれたすべての命が輝き、明日に向かっている。また話題のラップパーロ漢をフューチャリングした「ソラ」は、故郷を離れ都会で、全力で夢を追いかける日々を優しくそして強く謳い上げた新しい応援歌である。

神田連雀亭でめいゆう落語会

三遊亭遊里と柳亭明楽

隔月で勉強会を開催

七月は池袋演芸場に出場。八月は三遊亭小遊三師匠が率いる「にゅおいらんず」とともに浅草演芸場、9月25日は新宿の花伝舎を

三遊亭小遊三門下に入り八年、二つ目に昇進した三遊亭遊里さんは、出身地の秋田はもとより各地方での高座を含め忙しい毎日を送っています。



高座で熱演の遊里さん

会場に開催する第10回「芸術協会落語まつり」の実行メンバーの一人として準備に大わらわ。遊里さんが特に力を入れているのは、柳亭明楽さんと二人で神田連雀亭を会場に開催する勉強会のめいゆう。明楽の「めい」と遊里の「ゆう」を重ねた勉強会の名前。隔月に開催し評判を呼んでいます。お問合せは080・1699・1294まで。生まれ故郷の大仙市、あるいは秋田市で定期的に高座を持ちたいと話す遊里さん。遊里さんはこの7月31日、新宿の熊野神社で、丸尾司さんとの結婚式を挙行しました。小遊三師匠を初め大勢の先輩や仲間たちに囲まれた晴れやかな門出に二人は幸せな表情を見せていました。

本醸造生貯蔵酒

ひでよし——ひょうたん

お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

（名）鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0197-602121

300ml ¥389(税込)

旬の秋田が高輪に。

Dining & Shopping

あきた美彩館

Akita Bisaikan

京急本線品川駅 JR品川駅 高輪口 徒歩3分

東京都港区高輪4丁目10-8
ウィング高輪WEST-III 1階
TEL 03-5447-1010 <http://www.akita-bisaikan.jp/>

力 メ ラ 紀 行

春から初夏へ

季節が巡る

裏磐梯を行く

旅人 斎藤 貞助

(首都圏大曲会幹事 事務局長)



て、この地方の象徴である。訪れた日も残雪の山肌を
湖にその雄姿を映していた

観光客で混み合う5月の
ゴールデンウィークを前にし
た4月22日、裏磐梯の松原湖
方面への旅を楽しんだ。お目
当ては松原湖畔の溪流に咲く
ミズバショウと、桜峠公園を
埋め尽くす桜の景勝である。
福島県北部に位置する松原
湖は、明治23年の磐梯山爆発
で長瀬川支流の松原川がせき
止められて出来た湖である。
小野川湖、秋元湖とともに松
原三湖と呼ばれる。

可憐に咲き出した
ミズバショウ



楚々と桜が咲き揃う桜峠公園。二〇〇一年、敬宮愛子内親王の誕生を
祝い、桜峠牧場の跡地に植えられた2001本の桜の苗木。順調に
成長し今では福島県内屈指の桜の名所である



谷間を桜で埋め尽くす桜峠公園。若木の多いのが特徴という



ミスバシヨウの群生。互いに噛みあいながら滝の流れとなって谷を下る水音の傍に、競って咲き揃つミスバシヨウの大群が霧雨に濡れていた



会津で磐梯山は「裏磐梯」として鈍く光らせながらゆったりと、



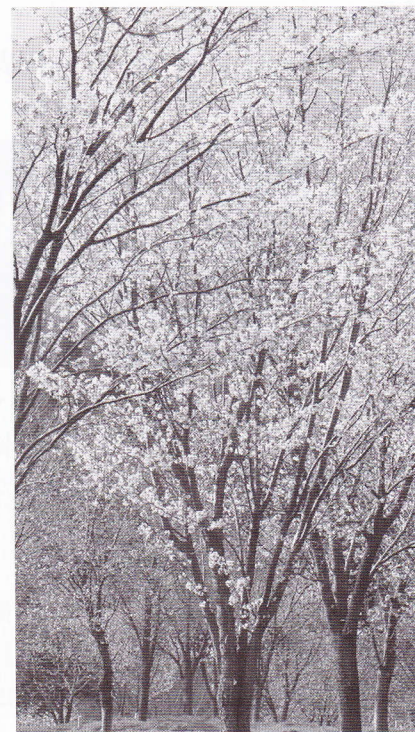
岩を飛び越え白く流れ下る谷川の岸でミスバシヨウが一株清楚に咲いていた

たがミスバシヨウには適度のお湿りのようで、丁度この日から咲き出すと言う幸運に恵まれた。雪解け水は勢いよく歓喜の声をあげ、細野地区の林の中までも潤して、巡り来る季節を精一杯讃えているかのよう。

桜峠公園は敬宮愛子内親王の誕生をお祝いして、平成13年（2001年）桜峠牧場跡地に2001本を植樹して造成した。地元はもとより全国から桜オーナーを募集し、手入れなども各オーナーが自ら行っている。オオヤマザクラが多く、峠一面が桜色に染まる光景は、まさに桃源郷ならぬ「桜源郷」の出現である。

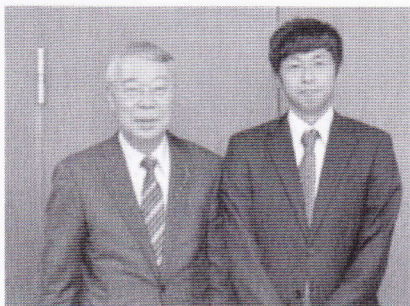


雪解け水は林の中にも広がって、ミスバシヨウはここにも群生していた。ほのかな白さも大群ともなれば辺りが明るく感じられた。初夏の香りを運ぶように風が吹いていた



大曲の話題

花火のシーズンが近づいて来たふるさとの大曲。
年間で一番活みなぎる季節。賑やかで陽気な話
題のあれこれをどうぞ……。〔「だいせん日和」より〕



栗林市長から激励を受ける佐々木悟選手

■リオ五輪に大仙市からマラソンの佐々木悟選手ら3選手

今年8月、ブラジルのリオデジャネイロで開催される夏のオリンピックに日本代表として出場する大仙市出身者は3名です。

佐々木選手は大仙市南外地域出身、男子マラソンの日本の第一人者として国内の大会で活躍し、リオ五輪でも日本の期待を一身に背負っての活躍が期待されます。4月25日には大仙市の大曲庁舎を訪問、栗林市長から熱い激励をいただきました。佐々木選手は、「怪我をしないよう健康管理に十分留意して大会では全力をつくす」と五輪への抱負を語っています。

カヌー・スラロームの代表に協和地域の佐々木兄弟が

佐々木翔汰・翼選手



一方カヌー・スラロームの男子カナディアンペアの日本代表に、協和地域の佐々木翔汰・翼さん兄弟がリオ五輪出場の座を確保しました。二人は仙北市の建設会社に所属し、兄弟ペアとしてこれまで世界選手権に4度出場するなど国際大会で活躍してきました。カヌー競技で秋田県勢の五輪代表入りは初めてとのこと

です。リオ五輪で活躍が期待される大仙市出身の選手たちに熱烈な応援のエールを贈りましょう。

■まちづくりの思いを込めた「自治基本条例」前文のお話

「だいせん日和」2月のお知らせ版に、まちづくりの思いが込められた「条文の前文のお話」が掲載されています。まちづくりに取り組む大仙市の思いが強く伝わってくる文章でした。ほのぼのと優しく、このまちで生きて行く勇気が湧いてくる文だと思いました。あれから半年が経ち少し遅れた感がありますが、首都圏大曲会のみなさんにもご紹介することにしました。(大釜)

条例の構成

条例の素案は、民間委員で構成される「大仙市自治基本条例策定委員会」を中心に、市民で手づくりしたものです。条例は、この条例を制定する理由や主旨などを掲げた前文と、28の約束ごとを記載した条文で構成されています。

このうち前文には、条例の作成に携わった市民の方々のまちづくりに対する思いや、この条例を通じて今後どのようなまちづくりを進めていくのかが記載されています。

前文

みんなでつくる 私たちのまちだいせん

私たちのまちだいせんは、東の奥羽山脈と西の出羽丘陵に囲まれた仙北平野のほぼ中央にあり、四季折々に輝かしい表情を見せる豊かな自然環境に恵まれた美しいまちです。古くから、多くの先人たちがたゆまぬ努力を積み重ね、独自の文化と産業を育むとともに、秋田新幹線や秋田

自動車道などが整備された人々の交流の結節点として、経済、医療、福祉、教育などの都市機能と自然が調和したまちを築いてきました。

私たちのまちの自然や歴史、文化、産業などの多くの地域資源は、かけがえのない財産であり、私たちにはこれらの財産を守り、育て、次の世代へとつなげていく責任があります。このまちが将来にわたって輝き続けていくために、あらゆる世代の一人ひとりが互いを尊重し、責任を分かち合いながら、この地域特有の「雪」への対応など様々な課題と一緒に立ち向かっていかなければなりません。

このまちの主役は、私たちです。

私たちは、このまちに誇りと愛着を持ち、支えあって暮らせるまちに向かって、力を合わせ、たくましく歩んでいきます。

ここに、大仙市民憲章の精神のもと、まちづくりの基本となる考え方や仕組みを共有し、協働によるまちづくりを進めていくために、この条例を制定します。

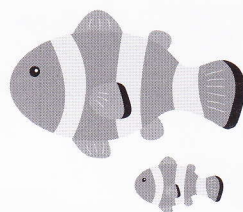
■東京ミッドタウン 夏のイベント イルミネーションで楽しむ新感覚 の花火大会に“大曲の花火”が登場

六本木の東京ミッドタウンで行われるサマーフェスティバルが今年も芝生広場を舞台に行われます。今年のイベントの目玉は、日本三大花火大会の花火の模様を、イルミネーションを使って開催されることです。

日本三大花火大会とは「全国花火競技大会(大曲の花火)」を筆頭に、「長岡まつり大花火大会」と「土浦全国花火競技大会」が相当します。大曲の花火がトップであることは巷間疑う人はいませんが、イルミネーションによる花火ステージも珍しく、東京でも話題になりそうです。“大曲の花火”は8月1日～14日に映し出されますが、夕方6時半から11時まで、1時間に6分程度、3回行われます。

□首都圏大曲会

会員のひろば



秋日和

朱華

夏集う友と故郷懐かしむ
人声をさえぎる蟬のいさぎよし
三日月はスリムな顔で引き寄せる
待ちわびてスターマインの始まりぬ
源平の絵巻観てゐる秋日和
秋日和ドボルザークを聴くとする
名月やネオン寂しき銀座かな

*朱華は首都圏大曲会副会長大友律子さんの俳号

就職列車

作詞 黒皮羽生

金の卵と もてはやされて
数え十五で ふるさと後に
赤い夕陽を 背に負い
夢を抱いて 就職列車
時は流れて 幾歳か
想いたぐるや 雲の峰

里の香りを 詰め込みながら
変わらないかよ 母親日より
嬉し懐かし 会いたいよ
遠いあの夜の 就職列車
慣れぬ仕事は 辛いけど
負けちゃならない 挫けずに
昨日初めて 給料 出たよ
少しだけれど 送ったからね
そんなむかしが 懐かしい
俺の人生 就職列車
乗せて昭和も ながれゆく
思い巡るや この胸を

黒皮羽生（くろかわ ばしょう）は首都圏大曲会の幹事である佐藤重光さん。佐藤さんの周りにもこのような思い出がいろいろあったに違いありません。太平山の彼方、西山の向うに沈む太陽の光が見えるような気がします。

『ふるさと大曲』第21号

平成28年8月6日発行

編集人：首都圏大曲会 発行人：大 釜 茂 璋

〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6

教育情報プロジェクト気付

電話：03-3341-6339 Fax：03-6273-0081

eメール：info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info

印刷・製本：秋田協同印刷株式会社

首都圏大曲会 会報

『ふるさと大曲』編集スタッフ募集中！

首都圏大曲会は会報『ふるさと大曲』の編集協力者を募集中です。記事取材やインタビュー、写真、レイアウト等に興味・関心のある方は、ぜひご協力ください。ご連絡は左記まで。（担当 大釜）

電話 03（3341）6339

Fax 03（6273）0081

eメール：info@e-prosjp.com

編集後記

「東京で大曲の花火を観る会」は今年で7年目の開催となった。なかなか夏に帰って花火を観ることが出来ない人や、大曲は遠いから行くのが大変などと思っている人には好都合のイベントではあるが、満員にはならず主催者側は人寄せに苦労した。▼ところが今年はずっと。毎年40名前後だったものが今年度は60名を越して満員の盛況。もともと花火の後のカラオケが楽しいという声もあるが、大曲の花火が東京の人々にしわじわ浸透して来ていることは間違いない。▼地元からは「花火産業構想」の具体的な進捗状況や「花火サミット」の話、雨のなかでも盛況だった大曲の花火「春の章」など、元氣な話題が切れ目なく飛び込んでくる。お馴染みの賢木新悦さんに「大曲の花火」物語」を執筆頂いた。▼大仙市で活躍する企業訪問は小松煙火工業株式会社。5代にわたる花火製造の歴史は、常に挑戦の精神を遵守して革新を目指し、世界に通じる技術、製品の質をそのまま物語るものだった。▼駅前の旧田村薬局の内蔵をそのまま使ったという「毎日大曲」が面白い。大仙市来訪者の拠点にする関係者たちは意気込む。三月のオープン以来、市外からまた県外からのお客様が結構多いと言う。まさにここを拠点にして大曲で買い物をし、大仙市観光の拠点として利用してもらいたい。辻卓也さんに、エッセー「最近の大曲は面白い」を寄稿頂いた。大仙市をロケ地にした映画をつくらうという元氣な話も出ていたらしい。地元売り出しへの大胆なチャレンジとして注目される。（大釜）



憩い 安らぎ 癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1
電話0187-46-2740



秋田・田沢湖・抱返り溪谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や溪流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。全室抱返り溪谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187-44-2220